

西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



12月定例会
第162号

TOPICS

▶ 議会を傍聴してみませんか？ ▶ 表紙写真を募集



暁のヨットハーバー(甲子園浜)

CONTENTS

- 12月定例会の主な内容、審議日程…………… 2
- 一般質問…………… 3～8
- 委員会の活動状況…………… 9～10
- 議案等審議結果一覧表…………… 11
- 議会を傍聴してみませんか？、
本会議場で議員体験、表紙写真を募集…………… 12

12月定例会

主な内容

12月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。



主な審議日程

11月	
28(木)	本会議 提案説明
12月	
4(水)	
5(木)	本会議 一般質問 (20人)
6(金)	
9(月)	本会議 一般質問 (2人)、 質疑、委員会付託
11(水)	常任委員会 (総務、健康福祉、 教育子ども)
12(木)	常任委員会 (民生、建設)
17(水)	本会議 委員長報告、討論、 採決 常任委員会 (教育子ども)

条例 (市長提出)

可決

西宮市立幼保連携型認定こども園条例

市は、令和5年3月に「西宮市幼児教育・保育のあり方」を策定し、基本方針の中で、本市の幼児教育・保育の質の向上に必要な役割を果たすため、これまで蓄積してきたノウハウ等の資産を活用するとともに、より効果的な運営ができるよう、規模縮小・体制見直しを軸とした公立園の再編を行うとしています。

計画では、市内を8つのブロックに分け、今後おおむね10年間で公立幼稚園と公立保育所を再編し、公立の認定こども園の設置を進めていくとしており、令和7年4月に、現在の浜脇保育所の施設を活用して、浜脇幼稚園と浜脇保育所を統合した市内初の公立認定こども園「西宮市浜脇こども園」が設置されます。

条例 (市長提出)

可決

西宮市市民交流センター条例

市は、市民交流センターと大学交流セ

ンターを再編し、令和8年1月に、2つのセンターの機能を一体的に実施する新たなセンターを、現大学交流センターの場所(アクタ西宮東館6階)に開設する予定としています。

令和8年3月末で、市民交流センターの運営終了を予定しており、再編に向けて、関係団体や庁内関係部署との調整や連携強化を図る必要があることなどから、令和7年度の運営を、指定管理者から直営に変更するための条例改正が行われました。

所管事務調査 (総務常任委員会)

阪神西宮駅北地区公民連携事業

市は、阪神西宮駅北地区において、公共施設の再編と合わせた駅前空間の再整備を公民連携で進めることにより、交通の利便性や歩行者の安全性を向上し、本市の都市核にふさわしい魅力的な都市空間の形成を進めるとしています。

計画では、民間施行の土地区画整理事業により、地域内の2本の東西道路の一

部区間を廃止して大街区化する等、基盤施設を再編した上で、地区計画により、公共公益施設や公開空地の整備など地域貢献の度合いに応じて建築物の容積率や最高高さの制限を緩和し、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の増進を図るとしています。その後、民間施行による市街地再開発事業により、新中央図書館や民間施設が入る図書館棟と40階前後の住宅棟の整備が進められる予定です(令和13年度完成予定)。

また、図書館棟では、省エネ技術の積極的な導入により、エネルギー消費量を50%以上削減する予定とされています。

所管事務調査 (民生常任委員会)

公民館の運用改善の取り組み等について

学習活動を通じて地域と行政が共に地域課題を解決する地域づくりの拠点となるよう、公民館の機能の再構築を目指していくことが報告されました。

今後、利用要件の緩和、ネット予約やキャッシュレス決済導入による利便性の

意見書

否決

向上、開館時間の見直し、指定管理者制度の導入といった運用面の改善のほか、公民館で開催する講座や定期使用グループの登録要件などの見直しについても順次取り組みを進めていき、幅広い年齢層の市民、多様なニーズ、公利用用などの多用途な利用に応える生涯学習施設としての運営管理をしていくとされています。

選択的夫婦別姓制度の導入に向けた一日も早い民法改正を求める意見書

夫婦の氏については、民法第750条により、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と夫婦同氏が定められています。

夫婦同氏が義務づけられているために生じる不利益を解消することは、喫緊の課題であり、結婚後の姓を自由に選択できる選択的夫婦別姓制度を導入するための民法改正を行うよう国に強く要望する旨の意見書が提出されましたが、賛成少数により否決となりました。

一般質問

22人の議員が
市政に対する一般質問を
行いました。質問の
一部をご紹介します。



佐野ひろみ
あなたの声を
市政に!

日常生活用具の給付基準額

問 障害者の排泄管理支援用具として給付される紙オムツが値上がりしており、自己負担額が増えている。給付基準額を見直せないか。

答 増加する事業費の課題を踏まえ、まずは登録業者を小売店まで拡大してより安価に購入できた他市の例などを本市でも同様に実施することを検討する。

学校における生理用品の予算

問 生理の貧困を抱える児童生徒のために、生理用品を現物支給するか特別枠で予算を計上できないか。

答 令和6年度から生理用品相当額を各校に配当している。現物支給や特別枠の設定は考え

ていないが、各校で適切に購入するよう指導・助言に努める。
(質問時間24分)



松山かつのり
公明党議員団

家庭から排出される廃食油のリサイクル

問 家庭から排出される使用済天ぷら油を航空燃料などにリサイクルする取り組みが広がっているが、本市の考えはどうか。

答 回収方法や廃食油の品質、回収場所での転倒や火災の賠償責任、消火・防火対策等の課題もあり、実施可否や時期の回答は難しいが、他の自治体の調査・研究を行いながら、実情に見合った手法等を前向きに検討する。



福祉タクシー派遣事業

問 福祉タクシー派遣事業の予約制について、要件の見直しを行い、新規の事業者が参入しやすい環境を作るべきと考えるがどうか。

答 急な事業廃止のリスクを

軽減し、リフト付きタクシーの確保のため保有台数3台以上としているが、安定的にサービス提供できる体制をさらに確保するため、法人格や保有台数の要件を見直し、事業者が参入しやすい登録要件について検討する。

学校給食費の無償化

問 学校給食費の無償化を求める声が多いがどうか。

答 無償化は多額の財源を要するため、市独自では現状困難。国や県の支援が不可欠なことから、指定都市と中核市の市長会の共同提言で国に制度創設と財政措置の要望を行っており、今後も機会を捉え国等に要望する。
(質問時間54分)



森 けんた
無所属

教室が開く前に登校した児童への待機場所確保を

問 教員の働き方改革に伴い登校時間を遅くしている。生徒の保護者が問い合わせても学校が対応せずに困っている現状がある。市の考えを聞きたい。

答 共働き家庭で早く登校させざるを得ない保護者の要望に

ついて学校と地域や保護者で認識を共有し、地域と保護者と協力し子供に負担をかけないような方策を進めるよう学校に促す。

財政構造改善実施計画の説明会

問 実施計画素案で住民サービス低下につながる「事業の見直しと再構築」で66項目あげている。市民に対し説明会を行う必要があるのでは。

答 令和7年5月に開催を予定している「市政報告・広聴会」において財政構造改善をテーマに実施し、市長から広く市民に説明をしていきたいと考えている。

兵庫県知事選挙における市長の対応

問 今回の石井市長の行動は批判を招きかねない軽率な行動であったと考える。選挙後に市民に謝罪をする市長も出てきているが、市長の考えを聞きたい。

答 それぞれの市長の対応はそれぞれの市長が考えることで、それぞれがどういう行動を取ったかに対してのことになる。私としては特段指摘のような対応をする必要はないと思っている。
(質問時間52分)



河崎はじめ
市民クラブ

富倉川沿いの市道甲30号線の拡幅

問 阪急門戸厄神駅を挟み東から西へ流れる富倉川の西側について、川にふたをして神戸女学院等の通学路でもある歩道を拡幅できないかという質問を過去20数年間に8回行い、今回が9回目になる。

全面的なふた掛けが無理なら市役所のすぐ西側を流れる六湛寺川で行われている、川の上にはランダムを作るような張り出しで歩道を拡幅できないか。

答 張出方式は大規模な構造物が必要で工事期間中の道路の終日通行止めが長期間になるなど地域に及ぼす影響が甚大となり、また部分的な区間の工事では道路の機能向上が極めて限定的となるため事業化は困難。



張り出し構造(六湛寺町)

基金の運用

問 9年前、本市の33倍以上の基金運用益を得ていた国東市を視察の上、運用手法の違い等を質問した。9年の時間を経て、地方自治法241条「基金は確実かつ効率的に運用しなければならぬ」に対するその後の取り組みについて質問する。

答 財政基金、減債基金、公共施設保全基金等を活用して債券を購入したほか、利率の有利な預金への切り替え等で令和7年度には約7千5百万円の運用益を見込む。基金の合同運用で運用資金量を増やし、より利率の高い運用を可能としている。



宮本 けいいち
市民クラブ

避難所の非常用電源

問 令和7年で阪神・淡路大震災から30年。地震の他、台風や豪雨など自然災害リスクも高まっている。本市の停電発生時を想定した各避難所の非常用電源等の確保の現状を聞く。

答 令和5年度末でカセット

ガス式発電機69台、蓄電池44台を備蓄。各避難所に1台ずつ配備を計画。電源供給可能な車の貸与など企業との連携も強化。

西宮浜総合公園北多目的広場

問 北多目的広場は無料使用できるグラウンドで少年野球、少年サッカー等の練習に利用できる。石が多く危ないという声が多いが、安心して練習できる環境となるよう整備が必要では

答 以前に仮設住宅建設や駐車場に供するため砕石層を設けたことが一因と思われる、直ちに抜本的な表土の改良等は困難だが、実施可能な対策を検討する。

はり・きゅう・マッサージ 施術費補助の年齢要件

問 財政構造改善の取り組みの中、はり・きゅう・マッサージ施術費補助の対象年齢の引き上げ案がある。市民の健康維持・増進に寄与していると考えながら現状での維持はできないか。

答 財政構造改善実施計画素案のパブリックコメントをしており市民の皆さまから頂く意見の内容などを含めて個々の事業見直しを再検討する場合もある。(質問時間56分)



一色 風子
無所属

援農者や就農希望者への支援

問 他の機関でのマッチングだけでなく、直接市が窓口になり農地を借りたい人と農地の継続に苦慮している人をつなげ、フオーアアップ体制を整えることをしてはどうか。

答 農地を耕作する権利があるのは、所有者、借受人になるが、相談があれば、地元農業委員、その地域の農家の代表、市が連携し、協議・対応していく。



地域づくりの活動拠点の在り方

問 地域づくりの活動拠点の再編の中、無作為抽出の市民参加型会議で議論としてはどうか。

答 より良い施設となるよう地域住民をはじめ多様な意見を聞くことは重要であり、提案の手法も含めさまざまな視点の意見を反映できる方策を研究する。



江良 健太郎
日本維新の会
西宮市議員団

(質問時間26分)

路上喫煙対策

問 路上喫煙禁止区域外である阪神西宮駅南東側のコンビニ周辺での市職員等による喫煙が見受けられるが、喫煙禁止区域にすべきではないか。

答 喫煙禁止区域の追加を前提に、現在、喫煙者数や人流、苦情を考慮のうえ、候補地を検討しており、地元団体や事業者の意見を聴取し区域を確定させる。また、喫煙禁止区域外の喫煙者については、引き続き、適切な指導により喫煙マナーの再認識を促し、巡回頻度を見直し違反行為に迅速に対応することで喫煙者の行動を抑制し、喫煙マナーの向上を図っていく。

中間管理職の離職対策

問 昨年度、市の人材である課長や係長級の退職者が例年の倍に増加している。安心して働いてもらう環境づくりはどうか。

答 今年度より退職の申し出



浜口 ひとし
日本維新の会
西宮市議員団

(質問時間45分)

育成センターと放課後キッズルームの二元化

問 小学校の放課後の居場所について、育成センターの待機児童はもちろん、朝の登校時の見守りという新たな問題も発生している。育成センター施設のさらなる整備が困難な中、財源確保や人材不足など育成センター事業の持続性には多くの課題がある。市は全ての児童を対象とした放課後キッズルーム事業を実施しているが、2つの事業を並行して行うことは財源に大きな負担がかかる。放課後キッ

の際に退職理由を問うアンケートを実施しており、まずは理由の把握と分析を進める。職員からの意見や要望は、人事担当課への相談、産業医や保健師、弁護士による相談窓口、人事評価制度での面談や自己申告制度等を通じて把握に努めており、令和6年1月より市長に直接意見や要望を伝える制度も実施している。引き続き、職員からの意見や要望の丁寧な把握に努める。



ズルーム事業に育成機能を加えた上で、2つの事業を一元化するべきと考えるが。

登所、降所の管理や延長利用などの運営内容の違い、国や県の補助金なども考慮しつつ、一元化も含め、両事業のより効果的な運営方法を検討していく。

指名入札の結果を検証して競争原理を高めるべき

入札において「一定の競争原理」と「市内産業の保護」とのバランスは重要である。競争原理が適切に働くよう指名競争入札の落札結果を検証し、バランスを考慮しながら競争原理のさらなる活性化を促すべきと考えるが。

競争性の確保が難しい場合等は市外事業者を指名に加えることも必要。一律の基準等を示すことは難しいが、市内事業者の受注機会の確保を図りつつ適切な入札事務を行っていく。

(質問時間55分)



多田 裕
日本維新の会
西宮市議員

学校徴収金(副教材費や校外活動費等)の公会計化

学校徴収金を公会計化する

ることにより、教員の負担軽減と事務員の業務削減および保護者の利便性向上を図るべきだと考えるが、市の見解は。

教材選定など学校現場の裁量が一定制約される可能性があり、慎重に考える必要がある。先進事例を精査し、効果や課題などを整理して対応を考える。

中学校の部活動

生徒や保護者への混乱を防ぐためにも、中学校部活動の休部、統合、廃部を決定するまでの過程においては、入学予定者を含めた関係者へのヒアリングや案内を丁寧に行うべきだと考えるが、市の見解は。

各中学校にて、できるだけ早い段階から生徒や保護者等に丁寧な説明を行っており、教育委員会としても各校の事例を情報提供するなど支援していく。

市民交流センターと大学交流センターの再編

「(仮称)新センター立ち上げ検討会」について、今すぐにも声を掛けていく必要があるが、どのようなスケジュール感でいるのか。

令和7年度初めに立ち上

げ、意見を聞いていく必要があるため、検討会の運用方法や検討事項が決まれば、関係団体等に速やかに参加依頼等を進める。

その他の質問 墓園事業

(質問時間43分)



大学交流センター(北口町)



草加 智清
会派・ぜんしん

兵庫医大方面へ向かう小曾根線バス路線の利用促進

現在もバス利用者が一番多く見込める朝と夕方の時間帯以外の、平日だけの9時から16時という限られた時間帯での運行となっている。前回の6月の一般質問で、市としてハローワーク西宮との合同説明会以外で協力できることの協議の必要性を求めた際に、市が働きかけて阪神バスと兵庫医科大学病院との間でバスの利用促進策に関して協議が行われたと回答があった。その協議内容に基づいて

現在実施されている取り組みについて聞きたい。

兵庫医大で院内の待合や出入り口へポスターを、阪神バスが停留所へ案内板等を設置し、来院者等に周知している。今後、も連携して利用促進策に取り組んでもらえるよう働きかける。

満池谷斎場施設の改修

多死社会の到来に加え、家族葬の増加等、市民の多様化する要望と施設運用上の課題への対応として、これまで満池谷斎場の改修の必要性を求めてきたが、このたび改修されることになった。式場が増設されるが、駐車場の増設についての考え方はどのようになっているか。

墓地内の既存の駐車場の拡張やその他の利用可能な場所を駐車場として整備し、できる限り駐車台数を増やす方向で検討していく。

(質問時間52分)



野口 あけみ
日本共産党
西宮市会議員

障害福祉サービスに係る国庫負担基準の改善を

12月25日締め切りで市民

意見を募集した財政構造改善実施計画素案では、障害福祉経費等が市財政を圧迫しているとしているが、経費増の要因は、誰もが同等の権利をという理念の浸透、国の制度拡充、当事者の裁判提起等にある。一方で国が基準額を抑制しているため、生命維持に必要な重度訪問介護等の提供で市の超過負担が生じている。これを改善するよう国に強く求めるべきだがどうか。

市長会を通しての要望や、市長自らの厚労省訪問、総務大臣との懇談会参加などで、直接要望や意見交換を行った。今後、も改善に向け国に要望していく。

その他の質問 瓦木支所管轄の窓口業務の見直し、パブコメでの意見はどう生かされるのか

(質問時間39分)



山田 ますと
公明党議員

予算編成時のルール化

財政基金の取り崩しに依存しないために、既存事業の継続については年限を決めて見直しの狙い(めざ)にあげる、また、新規事業の実施については、財源の



根拠を示すなど、予算編成におけるルール化を図るべきと考えるがどうか。

答 新規事業や拡充の査定時に見直し事業を併せて提案することを徹底し、今年度行った事業レビューを継続してスクラップ&ビルドの仕組みを構築する。

財政構造改善の根幹

問 財政構造改善の目的は、すべての世代から選ばれ続ける文教住宅都市西宮の持続的な発展とすべきと考えるがどうか。

答 このまちに住むことに誇りと憩いを感じられるまちづくりが大きな目標。そのための財政構造の改善であり、市の価値を維持し高めていくことが大きな根幹にある。

財政構造改善実施計画に市長の思いやメッセージを

問 市長は、市民に何を訴え、本市を選んでもらおうと考えているのか、市民に示す必要があると考えるがどうか。

答 子育て、教育に庁内のリソース、財政をしっかりと振り向けられる文教住宅都市西宮を心からつくっていききたい。併せて、ハードや施設面でもしっかりと

たまちをつくっていききたい。

(質問時間62分)



坂本 龍佑 啓誠会

非居住住宅利用促進税の導入

問 空き家問題の進行が予想される中、京都市が導入を予定の新税を西宮市でも導入し、解体費などへの補助金によって、流通を促進し、宅地の有効活用に取り組み考えは。

答 本市は他の中核市と比較して空き家率はかなり低く、直ちに導入検討の段階ではないと考えるが、今後も他自治体を調査し効果的な手法等を研究する。

製造業工場等移転後の跡地の利用

問 近年、企業・工場・スポーツチームの流出が相次ぐ中、跡地には物流施設の整備が目立っているが、跡地利用において、物流施設と製造業の工場のごちらが望ましいと考えるのか。

答 市場の競争によるため物流施設のみ抑制は困難。雇用や財政面から工場が好ましいと考えており奨励金制度やサポート事業等を通じ立地定着を図る。

コンビニ交付証明書の手数料引き下げ

問 住民票や印鑑証明書などの証明書発行をマイナンバーカードを使って、コンビニで取得することを促進するために、10円で交付するべきと考えるが、市の考えは。

答 交付率上昇が期待できるが恒久的引き下げは財政に相当な負担となる。期間限定であれば利点が大きいため先行事例を研究し額や時期等を検討する。

(質問時間65分)



たかのしん 会派・ぜんしん

兵庫県に対する市有地貸付の有償化

問 学校や警察関連施設の土地を、市は県に無償で貸し付けている。有償化に向けた具体的な協議を開始するべきでは。

答 国や県に対しても負担は大きく、県との協議において個々の状況により個別に判断しているが、原則有償であることを念頭に県と協議、交渉を行う。

市役所におけるカスマーハラメント対策の推進

問 暴言・罵声や謝罪の強要、長時間の拘束といったカスマーハラメントは、市役所でも発生している。マニュアルの策定、周知・啓発の強化、悪質事案への強力な措置など、体系的な取り組みを進めるべきでは。

答 カスマーハラは官民間問わず大きな問題と認識している。他市の取り組みも参考にしながら、カスマーハラ対策に関する庁内の統一的な考え方を整理していく。

管理不全空家への対応強化

問 周辺環境に大きな悪影響をもたらす管理不全空家には、特措法上の勧告を行い固定資産税の特例解除を進めるべきでは。

答 特定空家等や管理不全空家等と認定した物件は、所有者へ指導を行い、税優遇措置の解除を周知することで自発的な改善を促し、早期の対応に努める。

その他の質問 財政構造改善実施計画の進捗管理 (質問時間55分)



川村 よしと 啓誠会

兵庫県知事選挙における西宮市長の関わり方

問 ブログ等で石井市長が「いなむら候補一択!」と主張したことや「市長会有志」の支持表明を中心に120件以上のクレームが届いていた。市民の方々の声に、どのように回答するか。

答 首長が政治活動や支持を明確にすることはおかしなことではないが、私の思いが強くて出たブログの表現に対して頂いた意見は私の想定以上であり、教訓としたい。

SNSに投稿された不適切な表現

問 石井さん他2名の市長の名前で「いなむら和美と兵庫県を創る」というアカウントを立ち上げていたが、その中に「これがコミュ障、斉藤くん」というような不適切な表現が多数見られた。これについての見解は。

答 この投稿は今初めて見た。ご指摘にあたる箇所もあると思う。失礼があったなら意図せざるどころもあるが、機会をみ

いなむら候補の敗因

て本人に私の思いを伝えたい。

問 市長はいなむら候補の敗因をどのように分析しているか

答 齋藤氏の支持の広がりがかく想定できなかったこと、稲村氏も言っていた「何と戦っているか分からなかった」というところもあるが、もう少し落ち着いてから検証したい。

(質問時間65分)



しげひさ 大塚
公明党議員団

トイレレラーの設置

問 本年11月に兵庫県地域防犯計画が改定された。トイレレラーの設置に向けた市の考えは。

答 トイレレラーは衛生的で快適に利用できるが、購入と維持経費の確保、庁内メンテナンス体制の構築、平時の利活用方法等に課題があることから、引き続き国の補助制度や他市導入事例等も参考に研究していく。

日常生活用具事業の支給要件緩和

問 点字ディスプレイは視

覚・聴覚の重複障害でない対象にならないという要件を撤廃すべきと考えるが、市の見解は。

答 重複要件の緩和は財政的な影響を勘案し慎重に検討する必要がある。現在、聴覚障害の要件は2級だが、3級以下の方で点字でなければ情報を得にくい方に関するニーズ把握を行い、要件緩和について研究していく。

新入職員への研修の実施内容

問 市の窓口業務はとも重要であるからこそ、職員の新人研修にはフレーム研修を必須項目にすべきと考えるが、市の見解は。

答 市役所は市民に身近な行政機関で、分かりやすい説明や適切なコミュニケーションは業務の遂行上重要な能力のため、研修による職員の資質向上を通じて住民サービスの向上に努める。(質問時間54分)



よつや 薫
あなたの声を市政に!

選挙の公平性

問 当選を目的とせず別候補を応援する二馬力の選挙は公平

性の観点から許されるのか。

答 国は、「法解釈上、候補者は他の候補者の選挙運動ができない」との見解を示し、「具体的な活動が違反かどうかは警察が事実に基づき判断」としている。



選挙管理委員会が共同不法行為責任を問われる危険性

問 選挙ポスターの掲示場に、他者の名誉棄損にあたる内容がある場合、その掲示物を放置すれば名誉棄損という不法行為に基づく共同不法行為責任が問われるのではないか。

答 ポスターを審査し取り消しや修正を命じる等は選挙の自由公正を害するものとしてこれを認めないのが公選法の趣旨であるとの最高裁判決がある。(質問時間27分)



渡辺 けんじろう
日本維新の会
西宮市議員団

西宮市幼児教育・保育のあり方

問 公立園の再編によって生

み出された経営資源は今後必要となる子ども・教育施策へ優先的に活用とあるが、最初の公立認定こども園が開設する来年度に合わせて、私立保育所などにおけるあゆみ保育への補助額増や人員体制のさらなる充実について今後の方針を示すべきと考えるが見解は。

答 現場の課題に応じた取り組みや環境整備を行い、誰一人取り残さないための取り組みを推進していく。あゆみ保育など、特別支援教育・保育の方向性は、できる限り早期に示せるよう引き続き具体的な検討を進める。

西宮市財政構造改善実施計画

問 実施計画は市民サービスの削減や市民生活に直接影響する取り組みを多く含んでいる。そのサービスや福祉を享受している市民にとってはサービスや福祉の削減である。そういった取り組みをするのであれば、まず市役所自身が身を切るべきである。本市には13の外郭団体がある。現時点で見直しの対象は3団体。他の外郭団体も見直しの対象とすべきではないか。

答 各団体の設立経緯や役割

事業が時代に見合うか、市の人的・財政的関与が適切かなどの視点で検証すべきであり、検証結果を踏まえ可能な団体から今後の方向性を整理していきたい。(質問時間47分)



花岡 ゆたか
市民クラブ

ライドシェアの導入

問 交通弱者・買い物難民対策として、西宮市では各所でコミュニティバスを運行させている。将来的にライドシェアを取り入れる考えはないか。

答 地域がコミュニティ交通の導入を検討する際には、国の制度などを勘案し、地域が主体となって利便性と運行収支を踏まえながら検討を重ね、地域の実情や特性に合った運行方法を決定することが重要と考えている。検討の結果「路線定期運行」以外の方式が選定の場合にも、市としては、助成金交付要綱の要件や継続的な運行の見込みなどを勘案した上で支援することとしている。今後も、国の動向等を注視しながら、地域が進めるコミュニティ交通の取り組み

を適切に支援していく。

たばこ産業に対する
スポンサーシップの禁止

問 J-Tが運営するスポーツチームが毎年夏休みに小学生のバレーボール教室を開催している。J-Tの社会貢献活動の一つとしてボランティアで行われているものと思っていたが、2012年〜2018年の7年間西宮市は協力謝礼金として1回につき5万円を支出していた(2012年より前、2018年よりは記録なし)。

これは適切な支出なのか。
答 今、把握しておりませんのでお答えいたしかねる。

(質問時間58分)



マイナ保険証への対応

問 マイナ保険証一本化でなく、健康保険証の存続が必要と考える。市の対策について聞く。

答 マイナ保険証の利用拡大は、国民がその利便性を認識することで実現されるべきと考え、国の対応を注視するとともに、市民に分かりやすい広報・

周知活動に取り組んでいきたい。中央病院統合後の人間ドック受診費用助成制度

問 中央病院で人間ドック受診費用助成を受けていた1110名の受け皿の対策を聞く。

答 医療機関にアンケートを行い、人間ドックの実施状況を把握した。現在、現行の助成対象医療機関に受け入れ枠拡大の検討を依頼し、アンケート結果により協力の可能性がある医療機関を訪問し説明を行っている。(質問時間35分)



人事・給与制度の抜本的改革

問 財政危機が顕在化する中、本市の総人件費は人口50万人未満の中核市中1位、平均給与は3年連続全国1位と異常に高い。抜本的改革を進めるべきでは。

答 人件費抑制は不可欠で、

国や近隣市との均衡を失している制度を改めることを基本に、本市独自の課題の検証と、運用面の見直しも検討する。

外郭団体に関する見直し

問 高齢かつ長期にわたるOBの在籍を放置・競争なしで特定団体に施設管理を丸投げ等、外郭団体に関わる多くの課題がある。抜本的改革を進めるべきでは。

答 個々の外郭団体について、改めて課題を整理したうえで、各課題の対応を検討するとともに、外郭団体全体に関わる課題も整理し、対応を検討していく。

広報啓発物の全庁的見直し

問 市が1年間に発行した広報啓発物は298種類で発行費用は1.9億円。ところが、その90%近くが効果検証さえされていない。全庁的に見直すべきでは。

答 広報啓発は、広報効果を高める視点に加え、効果検証やフィードバックが重要である。広報マネジメントの仕組みの構築について検討していく。

(質問時間73分)



セフシャルハラスメントと
思われる事案への対応

問 ある小学校であった教師による児童へのセフシャルハラスメントと思われる事案に関して、学校長は、ハラスメント防止指針を順守していないが、どう思うか。

答 事実関係の確認時、十分に共感的な姿勢で応じていないと児童や保護者に思わせ、不信感を抱かせてしまった部分に対しては謝罪を行い、児童の思いに丁寧に取り添うよう指導する。

電柱広告の道路占用料

問 電柱に添加されている広告の占用料、安過ぎなのでは。

答 阪神7市1町で構成の阪神間道路管理者連絡協議会で広告の占用料の統一単価を採用しているが、他の地域の占用料も調査、研究を行い議論していく。

(質問時間27分)



3月定例会の開催予定

3月										2月						
24(月)	21(金)	17(月)	14(金)	13(木)	12(水)	11(火)	10(月)	7(金)	6(木)	4(火)	3(月)	28(金)	27(木)	26(水)	25(火)	18(火)
予備日	本会議 委員長報告、 討論採決	予算特別委員会 (全体会)		予算特別委員会 (分科会)				常任委員会		予算特別委員会 (全体会)	本会議 一般質問、質疑、 委員会付託など	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 代表質問	本会議	施政方針、 提案説明

▽開催予定時刻は午前10時です。日程は変更される場合があります。▽お問い合わせ…議会事務局議事調査課 (079)8353378

委員会の活動状況

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では「視察」等について掲載しています。(記事は12月25日時点)

長 〓 委員長

副 〓 副委員長

総務 常任委員会



山田ますと(長) 松本たかゆき(副)
江良健太郎 澁谷 祐介
田中あきよ 野口あけみ
前島のぶなが 村上ひろし

総務常任委員会は本年度の最重要テーマである「西宮市財政構造改善実施計画素案」(以下、計画素案)に対する研究調査、質疑、討論を重ねてまいりました。市は計画素案に沿った取り組みで、令和11年度から収支均衡を図っていますが、それにはいくつか問題点があります。

1つ目は、目先の基金枯渇の回避に捉われ、中長期的視点での持続可能な市政運営のためのビジョンが欠如している点。2つ目は、類似都市平均値と比べて極めて高い人件費の抑制(給

与体系、適正定員管理等)を実施するべきにも関わらず、人件費の見直しについて、何をどこまで、いつまでやるといった具体的な目標と進捗管理が策定できていない点。3つ目は、経済的に苦しい生活を強いられる方々や福祉分野における給付型支援を削減する点。

これら課題解決のため、10月末に財政再建、行財政改革に取り組む先進市4市(尼崎市、相模原市、川崎市、郡山市)へ行政視察に伺いその取り組みや類似事例を調査し、そこで得た成果を提言としてまとめ、当局へ提出しました。

結論として、計画素案には、目的は何か、何のためにするのか、といった一番重要な視点が乏しく、市民の暮らしを念頭に置き、まちづくり、人づくりといった市が目指す姿を描き、抜本的構造改革の達成に向けた計画とすべき、と提言しました。

民生 常任委員会



菅野 雅一(長) ありめぐへい(副)
大原 智 しげひさ大学
田中 正剛 宮本けいこ
よつや 薫 渡辺けんじろう

市外を視察する管外視察は令和6年10月23日、24日の両日、「千代田図書館について」の調査のため千代田区を、「神奈川県立図書館について」の調査のため神奈川県を、「書かない窓口について」の調査のため横須賀市を訪問しました。

市内を視察する管内視察は同月29日、家畜の解体処理などを行う西宮市食肉センター(西宮浜)を訪問しました。市は食肉センターについて、令和11年度以降は公設での継続を断念する方針を決めました。処理頭数の

減少に伴う使用料収入の減少や施設の老朽化などが要因で、民営化により施設の継続を目指すことにしました。施設を利用する食肉事業者でつくる西宮食肉事業協同組合と民営化に向けた協議を進めるとしています。

食肉センターの管内視察では、各委員は白衣を着用のうえ、各枝肉冷蔵室や大動物解体場、大動物内臓室、小動物内臓室、小動物解体場などを視察。その後、会議室で質疑応答を行い、食肉センターの今後の在り方について協議しました。



健康福祉 常任委員会



松山かつのり(長) 今泉ゆうた(副)
おおさ純司郎 河崎はじめ
坂本 龍佑 中尾 孝夫
三好さつき 山口まゆみ

今年度の本委員会は、2つのテーマを掲げて管外視察(10月28日、10月30日)を行いました。

★西宮市健康ポイント事業の見直しに伴い、これに代わる高齢者の健康保持施策として、フレイル予防について柏市などを視察しました。柏市では令和元年にフレイルハイリスク者支援が始まり、リスクが高い高齢者に、継続的な見守りや社会参加促進支援を行っています。またフレイル予防ポイントは対象年齢を40歳以上と幅広くし、参加者拡大やフレイルの認知度向上につ



常任委員会に関する各種情報はこちらをご覧ください。



なげています。★要介護認定におけるデジタル化については、川崎市などを視察しました。認定調査システム導入後日も浅く、詳細な効果検証は行っていませんが、要介護認定の申請から認定までの期間は導入前より、一定短縮されてきました。一方、法定期間の30日以内には至っておらず、認定までの過程をさらに見直す必要があることがわかりました。期間の短縮により介護サービスをより受けやすくなるため、本市としてもデジタル化は検討に値するものと考えます。

■管外視察
本委員会では「学校施設のマネジメントについて」をテーマに10月21日、23日の日程で行政視察を行いました。令和7年開校予定の義務教育学校（仮称）榎尾学園（大阪府和泉市）、図書館や公民館と複合化を行った市立志木小学校（埼玉県志木市）、小学校・こども園・児童健全育成施設（わんぱくひろば）等を一体的に整備した区立富士見小学校（東京都千代田区）の3つの学校施設を視察し、最終日は文部科学省で学校施設の改

教育こども常任委員会

浜口ひとし <small>長</small>	おくの尚美 <small>副</small>
一色 風子	大川原成彦
川村よしと	佐野ひろみ
庄本けんじ	たかのしん

■常任委員会の報告
常任委員会では「西宮市幼児教育・保育のあり方アクションプラン「Part3」や「教育環境保全のための住宅開発抑制に関する指導要綱の地区指定見直し及び廃止について」、「大中小学教育環境整備事業基本計画（素案）」に係る意見提出手続き（パブリックコメント）の実施について」等に関して、子ども支援局および教育委員会から報告を受け、各委員からさまざまな質問・意見が出ました。

築に伴う財源やCO2削減プラットフォーム（コーシャプラットフォーム）の運営について、文部科学省職員と意見を交わしました。
視察後は各委員によって視察報告書を作成し、12月11日開催の本委員会で報告書を基に意見交換を行いました。報告書は西宮市議会ホームページにてご覧いただけます。

内容で管外視察を行いました。
【横須賀市 長井海の手公園のPFI事業について】本市では、「旧リゾ鳴尾浜」を含む鳴尾浜臨海公園南地区における施設の再整備について、公募設置管理制度（Park-PFI）を導入した事業者の選定が検討されています。そこで、日本初のPFIにより整備された公園であり、令和5年度からは新たにPark-PFIを活用した官民連携による第3ステージを迎えた「長井海の手公園」ソレ

建設常任委員会

多田 裕 <small>長</small>	牧 みゆき <small>副</small>
草加 智清	坂上 明
花岡ゆたか	前田しゅうじ
松田しげる	森 けんと



イユの丘」を視察しました。
【三浦市 100年先を見据えたアセットマネジメントとこれに基づく三浦市水道ビジョンについて】本市の上下水道事業は利用量の減少等に伴い、持続可能な事業継続のためには料金改定もやむなしといった状況にあります。そこで、26%という大幅な料金改定を実現した三浦市を視察しました。
また、管内視察では苦楽園大丸地区を現地視察するとともに、住民代表からエリアが抱える課題について話を伺いました。

議案等審議結果一覧表 (令和6年12月定例会)

全会一致で可決等されたもの

Table with 2 columns: 市長提出 (Mayor's Proposal) and 審議結果 (Deliberation Results). Rows include 予算 (Budget), 条例 (Ordinances), 一般条件 (General Conditions), 報告 (Reports), and 人事 (Personnel).

※退場者がいた場合は、下表「表決態度が分かれたもの」に記載しています。

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table showing voting results for various proposals. Columns include party names (e.g., 日本維新の会, 公明党) and individual council members. Rows list specific proposals like 令和6年度補正予算 and 条例 (新規定).

- 採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決されたことを示しています。
• 採決結果の×は、提出された議案等に対して賛成少数で否決されたことを示しています。
• 「退場」とは、採決に参加しなかったことを示しています。
• 無所属議員は会派に所属していない議員です。

請願・陳情の提出に関するお問い合わせはこちらまで 3月定例会で審査する請願・陳情の締め切り(予定)は、2月27日(木)午後5時です。お問い合わせ先:西宮市議会事務局 議事調査課 Tel(0798)35-3377

議会を傍聴してみませんか？

予約
不要

傍聴に関するお問い合わせは
議事調査課 0798-35-3378

西宮市議会では本会議（定例会・臨時会）や
委員会が開催されており、見学することができます。

議会棟入口の
エレベーターで受付へ



本会議は4階受付



委員会は3階受付



本会議は原則開会 15 分前、
委員会は開会 30 分前から
受付開始となります。



所定用紙に氏名、住所を
記入して申し込み。



本会議場

傍聴席は
こんな感じ



委員会室

本会議・委員会の開催日程
は議会ホームページ、議会
だよりにてご確認ください。



本会議場で議員体験



令和6年11月4日に西宮市100周年の企画として開催された「みやっこ市政体験（市議会体験）」では、本会議場が使用され、西宮市議会からも議長と7人の議員が出席しました。当日は、20人の小学生が議員役となり、本物さながらの雰囲気の中、まちづくりのことや、市長や議員のことについての質問を行い、一人一人の質問に対して市長や議員が答弁や説明を行いました。

表紙写真を募集



西宮市内の魅力を紹介できる写真
(春夏秋冬すべての季節の写真を募集)

提出物

- ・写真データ（JPGまたはPNG形式）
※ 2Lサイズ
（1536×2138px：300万画素）程度
- ・タイトル、撮影場所、撮影日
- ・氏名（ふりがな）、住所、電話番号

応募方法

- 以下のいずれかの方法
- ①西宮市議会ホームページ内の右上「メールフォーム」より画像データを送信
 - ②CD-R（DVD-R）を郵送または持参
〒662-8567 西宮市六湛寺町10-3
西宮市議会事務局 総務課

- ◆未発表、オリジナル作品限定
- ◆プライバシーや著作権などにより掲載許可が必要な写真は事前に了承を得ていることを明記ください
- ◆トリミング処理や加工等を行う場合があります
- ◆各発行月の2カ月前に広報委員会にて選考します
- ◆応募作品は返却しません
- ◆採用時には粗品を進呈します
- ◆採用時には氏名、タイトル、町名を掲載します
- ◆イニシャルや匿名での掲載を希望の場合は応募時にお知らせください ※ペンネームは不可

